

内閣府消費者委員会主催 消費者委員会10周年 記念シンポジウム

～未来の消費者行政の充実に向けて～

第1部 基調講演

「SDGsで自分を変える、 未来が変わる」

かわていまさひろ
川廷昌弘

博報堂D Yホールディングス
グループ広報・IR室CSRグループ推進担当部長

兵庫県芦屋市生まれ。1986年博報堂入社。テレビ番組「情熱大陸」の立ち上げに関わる。地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」でメディアコンテンツを統括し、現在はSDGsが主要テーマ。環境省SDGsステークホルダーズ・ミーティング構成員。グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンSDGsタスクフォース・リーダー。神奈川県顧問(SDGs推進担当)。鎌倉市SDGs推進アドバイザーなど委嘱多数。

また、公益社団法人日本写真家協会の会員として「地域の大切な資産、守りたい情景、記憶の風景を撮る」をテーマに活動する写真家でもある。



開会挨拶

たか いわお

高巖

内閣府消費者委員会委員長 麗澤大学大学院経済研究科教授



昭和54年麗澤大学外国語学部卒業。昭和60年早稲田大学大学院商学研究科博士課程修了。平成6年麗澤大学国際経済学部(現経済学部)専任講師、平成8年同助教授等を経て平成13年より現職。専門は企業倫理、コンプライアンス、企業の社会的責任(CSR)。著書に「誠実さを貫く経営」、「ビジネス・エシックス—企業の社会的責任と倫理法令遵守マネジメント・システム」(共著)、「よくわかるコンプライアンス経営」(共著)、「コンプライアンスの知識」、「CSR 企業価値をどう高めるか」(共著)等。

「10年後の理想的な暮らしと消費に 向けての工夫と提案」

なかのたみお

ファシリテーター 中野民夫

東京工業大学リーダーシップ教育院・
リベラルアーツ研究教育院教授



ワークショップ 企画プロデューサー
1957年東京生まれ。1982年東京大学を卒業、博報堂入社。1989年に休職留学。1991年カリフォルニア統合学研究所(CIIS)の組織開発学科修士課程修了。以後、人と人・自然・自分自身・社会をつなぎ直すワークショップや、参加型の場作りの技法であるファシリテーションの講座を多様な分野で実践。2012年から同志社大学教授を経て、2015年秋から東工大でのリベラルアーツ教育改革に取り組む。公益社団法人日本環境教育フォーラム理事、NPO法人日本ファシリテーション協会フェロー、ビーネイチャースクールファシリテーション講座監修。著書に「学び合う場のつくり方」「ワークショップ」「ファシリテーション革命」(共に岩波書店)、「みんなの楽しい修行」(春秋社)など多数。

第3部
会場全体
で
ワークショップ

第2部 パネルディスカッション 「SDGs推進に向けた取組について」

いけもとせいじ
コーディネーター 池本誠司 内閣府消費者委員会委員長代理 弁護士

昭和53年明治大学法学部卒業。昭和57年弁護士登録(埼玉弁護士会所属)。日本弁護士連合会消費者問題対策委員会委員長(平成23、24年度)。東京都消費生活対策審議会委員、消費者庁参与、産業構造審議会商務流通情報分科会割賦販売小委員会委員、消費者委員会専門委員等を歴任。著書に「特定商取引法ハンドブック」、「消費者法講義」、「割賦販売法」、「条解・消費者三法」(いずれも共著)等。



ふかおまさたか
パネリスト 深尾昌峰

龍谷大学政策学部教授、一般社団法人全国コミュニティ財団協会会長
熊本県出身。滋賀大学大学院修了。1998年きょうとNPOセンター事務局長に就任。2001年には日本で初めてのNPO法人放送局「京都コミュニティ放送」の立ち上げに参画し理事長などを歴任。また2003年から京都市市民活動総合センターの初代センター長をつとめた。また、2009年からは、公益財団法人京都地域創造基金の理事長に就任し、市民による公益創造のインフラづくりを展開。2010年4月に龍谷大学准教授に就任し2018年4月から教授。その他にも京都大学大学院公共政策研究科非常勤講師、公益法人協会評議員、経済財政諮問会議専門調査会「選択する未来委員会」委員などを歴任。現在、総務省ふるさとづくり懇話会委員、滋賀県東近江市参与なども務める。



かねこようへい
パネリスト 金子洋平

花王株式会社ESG部門ESG活動推進部長

1986年花王株式会社に入社後、界面活性剤などの素材開発研究に従事。2009年素材開発研究所所長、2011年エコイノベーション研究所副所長。2014年より、環境・安全推進本部、サステナビリティ推進部を経て、2018年7月より現職。ESGにかかわる社内推進、社外連携を担当。専門は、有機合成化学、界面化学、LCA。理学博士。



もりゆうすけ
パネリスト 森祐介
茨城県つくば市政策イノベーション部長

1984年山形県米沢市生まれ。2011年文部科学省入省。内閣府、文部科学省で科学技術・イノベーションの推進や条約交渉、日中韓の教育交流などに携わる。2012年、東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了、博士(生命科学)。2015年より米国留学し、2016年ハーバードケネディスクールで行政学修士号を、2017年ハーバードメディカルスクールで生命倫理学修士号を取得。この間、マサチューセッツ工科大学・リサーチフェロー、ハーバード大学・リサーチアソシエイト。2019年6月より現職。他に、東京大学大学院新領域創成科学研究科・客員連携研究員、新潟大学大学院医歯学総合研究科・客員研究員、一般財団法人あなたの医療・理事を兼務。



かきのしげみ
パネリスト 柿野成美
公益財団法人消費者教育支援センター 専務理事・首席主任研究員

平成9年お茶の水女子大学大学院を修了後、平成10年より消費者教育支援センターに勤務。平成25年より現職。平成30年3月に法政大学で博士(政策学)の学位を取得。専門は消費者教育、消費者政策、持続可能な消費(エンカル消費)。著書に「消費者教育の未来 - 分断を乗り越える実践コミュニティの可能性」(法政大学出版局)。日本消費者教育学会常任理事、文部科学省消費者教育推進委員会委員、東京都消費生活対策審議会委員、東京都食品ロス削減パートナーシップ会議委員、浜松市消費者教育地域協議会委員等を歴任。平成28年告示の学習指導要領(小学校家庭科)の改訂に関与し、子ども達の消費者としての自立を目指して、全国各地で消費者教育の実践支援を行っている。



閉会挨拶

ひぐちかずきよ

樋口一清

内閣府消費者委員会委員 法政大学客員教授



昭和49年東京大学経済学部経済学科、昭和50年同経営学科卒業。同年通商産業省(経済産業省)入省。同省九州経済産業局長等を歴任した後、退官。平成13年信州大学経済学部教授。平成15年同大学院経済・社会政策科学研究科教授。平成25年信州大学名誉教授、法政大学大学院政策創造研究科教授。消費経済審議会臨時委員、産業構造審議会臨時委員、長野県消費生活審議会会長等を歴任。著書に、「サステナブル地域論」、「日本の消費者問題」(いずれも共著)等。